



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 な と り 上場取引所 東
 コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 名 取 三 郎
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 小 林 眞 TEL (03) 5390-8111
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,176	7.6	226	△24.7	234	△23.7	131	△22.0
24年3月期第1四半期	7,598	△3.9	300	△50.1	307	△49.2	168	△49.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 128百万円 (△26.0%) 24年3月期第1四半期 173百万円 (△43.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.12	—
24年3月期第1四半期	11.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,730	15,413	55.6
24年3月期	27,829	15,385	55.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,413百万円 24年3月期 15,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,895	0.7	440	9.8	445	8.9	250	18.9	17.35
通 期	33,500	1.4	1,495	2.0	1,500	2.2	835	0.7	57.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
 新規 一社 () 除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
 ④ 修正再表示 : 有・無

(注) 当第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	15,032,209株	24年3月期	15,032,209株
25年3月期1Q	619,770株	24年3月期	619,770株
25年3月期1Q	14,412,439株	24年3月期1Q	14,412,496株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 補足情報.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間においては、欧州の財政危機が依然として燻る中、新興国の景気鈍化が世界経済に影響を与えています。国内における消費は、先行きが不透明なことから節約志向が根強くあります。

食品業界では、放射性セシウムの厳格化された基準値が一般食品に適用されました。高騰した原材料価格の高止まり、お客様のご要望の多様化、市場のボーダレス化など、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

この様な環境の下、当社グループは、企業メッセージ「ひとつまみの幸せ。」を掲げ、「楽しさを演出する、美味しい“おつまみ”を通してお客様に“幸せ”なひとときをお届け」することを目指し、全社一丸となって取組んでまいりました。

販売面においては、春夏新製品の導入を積極的に進めました。また、30 周年を迎えた「チーズ鱈」をご愛顧頂いている皆様への感謝の気持ちとして「ひとつまみの幸せプレゼントキャンペーン」を 4 月より実施しております。このキャンペーンの開始に合わせて実施したテレビ CM の相乗効果もあり、第 1 四半期の売上は堅調に推移し、東日本大震災前の水準以上に回復いたしました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、売上高 81 億 76 百万円（前年同期比 7.6%増）、営業利益 2 億 26 百万円（同 24.7%減）、経常利益 2 億 34 百万円（同 23.7%減）、四半期純利益 1 億 31 百万円（同 22.0%減）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 区 分		前第 1 四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成24年4月1日 至平成24年6月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	3,992	52.5	4,138	50.6	145	3.7
	畜肉加工製品	870	11.5	1,011	12.4	141	16.3
	酪農加工製品	1,337	17.6	1,434	17.5	96	7.3
	農産加工製品	234	3.1	244	3.0	10	4.5
	おつまみスナック製品	6	0.1	51	0.6	44	698.6
	小物菓子製品	121	1.6	107	1.3	△13	△11.3
	素材菓子製品	296	3.9	361	4.4	64	21.6
	チルド製品	55	0.7	85	1.1	29	53.8
	その他製品	613	8.1	668	8.2	55	9.0
	計	7,527	99.1	8,102	99.1	575	7.6
不動産賃貸事業計		71	0.9	73	0.9	2	2.9
売上高合計		7,598	100.0	8,176	100.0	577	7.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、いか原料高騰の影響を受けするめが苦戦しましたが、一部大手チェーンへの導入に成功したソフトいか燻製や辛口タイプのいかフライ、あたりめ、「うまいいか天」等が好調に推移し増収となりました。畜肉加工製品は、通常の約 2 倍の厚さのビーフジャーキー「THE おつまみ BEEF」が好調に推移したことに加え、「本格 黒胡椒サラミ」や新製品「南イタリアの美味しいサラミ マンマの味」の売上が貢献し増収となりました。酪農加工製品は、チーズ鱈 30 周年キャンペーンやテレビ CM の効果もあり、「チーズ好きが食べる美味しいチーズ鱈」、「一度は食べていただきたい熟成チーズ鱈」等のチーズ鱈製品が大きく売上を伸ばし増収となりました。農産加工製品は、新たな素材“茎レタス”を使用した新製品「シャッキリ茎レタス 中華味」の売上が貢献し増収となりました。おつまみスナック製品は、新製品「GARIBARI こんがりバターしょうゆ味」等が貢献し増収となりました。小物菓子製品は新製品を投入出来ず減収となりました。素材菓子製品は、新製品「ベジシャキ茎レタス 梅味」、「コリっと茎わかめ 梅味」等が好調に推移し増収となりました。チルド製品は、「くちどけチーズたらシリーズ」等が売上を伸ばし増収となりました。

その他製品は、「おつまみセレクション」が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 81 億 2 百万円（同 7.6% 増）となりました。

利益面では、原料高騰の影響を受けて上昇した原料調達コストへの対応として、前述の新製品などによる売上増や、合理化を目的とした設備の導入を積極的に進めるなど、生産性の向上に努めてきましたが、売上総利益は 26 億 96 百万円（同 5.9% 増）にとどまりました。

販売費及び一般管理費は、継続的なコストコントロールに努めておりますが、「ひとつまみの幸せプレゼントキャンペーン」の開始に合わせてテレビ CM を実施したことで、広告宣伝費が増加したため、25 億 4 百万円（同 10.3% 増）となりました。

この結果、営業利益は 1 億 91 百万円（同 30.5% 減）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は 73 百万円（同 2.9% 増）、営業利益は 34 百万円（同 38.8% 増）となりました。

		前第 1 四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成24年4月1日 至平成24年6月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	7,598	100.0	8,176	100.0	577	7.6
	売上総利益	2,571	33.8	2,731	33.4	159	6.2
	販管費	2,271	29.8	2,504	30.6	233	10.3
	営業利益	300	4.0	226	2.8	△74	△24.7
	経常利益	307	4.0	234	2.9	△72	△23.7
	第 1 四半期純利益	168	2.2	131	1.6	△37	△22.0

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の連結総資産は 277 億 30 百万円（前連結会計年度末比 99 百万円減）となりました。

資産の部では、原材料及び貯蔵品などが増加しておりますが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建物及び構築物などの減少により総資産が減少いたしました。

負債の部では、未払金、預り金、未払消費税等が増加しておりますが、未払法人税等、長期借入金などの減少により負債合計は 123 億 17 百万円（同 1 億 27 百万円減）、純資産の部では利益剰余金の増加により純資産合計は 154 億 13 百万円（同 27 百万円増）となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 0.3 ポイント増の 55.6% となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間の業績は前述の通り、前年同期比では減益となりましたが、これは当第 1 四半期連結累計期間に、前期に比べて前倒しでテレビ CM を行ったことなどによるものです。

当連結会計年度の通期業績予想および第 2 四半期業績予想につきましては、平成 24 年 5 月 11 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第 1 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ66千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,660	1,741,642
受取手形及び売掛金	※2 5,720,339	※2 5,396,807
商品及び製品	759,662	652,901
仕掛品	659,925	616,236
原材料及び貯蔵品	3,223,638	3,853,975
その他	392,408	299,417
貸倒引当金	△1,238	△1,243
流動資産合計	12,493,395	12,559,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,447,353	7,343,714
土地	5,126,753	5,127,211
その他（純額）	1,495,407	1,430,859
有形固定資産合計	14,069,514	13,901,784
無形固定資産	153,774	149,308
投資その他の資産	※1 1,113,298	※1 1,119,601
固定資産合計	15,336,588	15,170,694
資産合計	27,829,983	27,730,433

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 3,837,116	※2 3,887,929
短期借入金	3,379,000	3,429,000
1年内返済予定の長期借入金	1,274,468	1,135,868
未払法人税等	282,945	117,196
賞与引当金	292,231	203,167
役員賞与引当金	19,000	5,500
その他	※2 1,629,567	※2 1,838,538
流動負債合計	10,714,329	10,617,200
固定負債		
長期借入金	236,224	206,957
退職給付引当金	287,569	292,853
役員退職慰労引当金	464,585	473,323
資産除去債務	4,798	4,798
その他	737,193	722,207
固定負債合計	1,730,370	1,700,139
負債合計	12,444,700	12,317,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	11,587,148	11,617,690
自己株式	△509,132	△509,132
株主資本合計	15,344,064	15,374,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,218	38,487
その他の包括利益累計額合計	41,218	38,487
純資産合計	15,385,283	15,413,094
負債純資産合計	27,829,983	27,730,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
売上高	7,598,801	8,176,481
売上原価	5,027,079	5,445,318
売上総利益	2,571,721	2,731,163
販売費及び一般管理費	2,271,024	2,504,810
営業利益	300,697	226,352
営業外収益		
受取配当金	7,620	8,519
受取賃貸料	7,510	7,409
その他	9,624	9,177
営業外収益合計	24,755	25,106
営業外費用		
支払利息	9,036	8,701
賃貸費用	9,132	8,331
営業外費用合計	18,169	17,032
経常利益	307,283	234,426
特別利益		
固定資産売却益	415	210
特別利益合計	415	210
特別損失		
固定資産除却損	122	14
特別損失合計	122	14
税金等調整前四半期純利益	307,576	234,623
法人税等	139,043	103,194
少数株主損益調整前四半期純利益	168,532	131,429
四半期純利益	168,532	131,429

【四半期連結包括利益計算書】
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,532	131,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,450	△2,731
その他の包括利益合計	5,450	△2,731
四半期包括利益	173,983	128,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,983	128,697
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,527,184	71,617	7,598,801	—	7,598,801
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,527,184	71,617	7,598,801	—	7,598,801
セグメント利益	275,749	24,947	300,697	—	300,697

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,102,766	73,715	8,176,481	—	8,176,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,102,766	73,715	8,176,481	—	8,176,481
セグメント利益	191,730	34,622	226,352	—	226,352

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第 1 四半期連結累計期間の「食品製造販売事業」のセグメント利益が 66 千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 24 年 6 月 30 日)
投資その他の資産	12,582 千円	12,582 千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第 1 四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 24 年 6 月 30 日)
受取手形	5,716 千円	7,886 千円
支払手形	152,390 千円	140,291 千円
その他(設備関係支払手形)	4,620 千円	27,861 千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)
減価償却費	210,606 千円	201,202 千円
負ののれんの償却額	△1,804 千円	一千円